

0～16歳までの子ども3,475人の「子どもの花粉症」調査結果

**16歳までの子を持つ父母が実感する「子どもの花粉症」は、約3割
そのうち5歳までに発症した子どもが4割超えで、低年齢化傾向へ。**

■1歳までに「皮膚の湿疹が2ヶ月以上続いた」子どもの花粉症発症率は1.5倍に

ロート製薬株式会社（本社：大阪市／社長：吉野俊昭）は、2013年11月～12月にかけて、花粉症対策への啓発を目的に、0～16歳の子を持つ父母を対象とした「子どもの花粉症」アンケート調査を実施しました。

このうち回答をいただいた父母2,082人及びその子ども3,475人の症状や実態等について、集計・分析を行いましたので、小児アレルギー専門医の見解と合わせてご報告します。

調査結果のポイント

■「子どもが花粉症だと思う」は、約3割。

0歳～16歳の子どものうち、「花粉症である」と父母が実感している子どもは28.8%という結果になりました。2012年に行った同様のアンケートでは、花粉症の子どもは25.7%となっており、3.1ポイントの増加となりました。（※医師の診断ではなく父母の実感によるものです）

■「子どもの花粉症発症年齢」は低年齢化へ？

10歳までに発症した子どもは約8割。5歳までに発症した子どもは約4割超え。

自分の子どもの花粉症を実感している親に発症年齢を聞いたところ、「5歳」と答えた人が最も多く12.5%となりました。0歳から5歳までが41.8%（2012年36.6%）、0歳から10歳まで78.6%（2012年69.3%）となりました。

■1歳までに、「皮膚の湿疹が2ヶ月以上続いた」子どもでは、花粉症発症率は43.5%。

全体の花粉症発症率の1.5倍に。

1歳までの間に「2ヶ月以上皮膚の湿疹が続いたことがある人」に花粉症の発症をたずねたところ、43.5%という結果になりました。「1～2ヶ月、皮膚の湿疹が続いたことがある」人の花粉症の割合29.5%、「ほとんどなかった」人の花粉症の割合26.3%と比べると、非常に高い数値を示しており、全体の花粉症発症率28.8%に対して約1.5倍という結果でした。乳児期の皮膚湿疹と花粉症の発症については、何らかの相関関係があると考えられます。

【花粉症治療の専門医より】

大阪府済生会中津病院小児科 免疫・アレルギーセンター 末廣 豊 医師

ここ数年、皮膚から食物アレルゲンなどのアレルゲン感作が始まることを証明するデータは増え続けています。つまり乳児期の湿疹から小児のアレルギー疾患（食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎/花粉症）が始まる、すなわち“アレルギーマーチ”は皮膚から始まるという事が証明されつつあるのです。

今回の「子どもの花粉症」アンケート調査もそれを示唆しています。乳児期の湿疹をできるだけ早く治しておくことが、“アレルギーマーチ”の発展阻止につながることを意味しています。

今回のような報告結果が多く集まると、“アレルギーマーチは皮膚から始まる”“保湿剤などで皮膚をつるつるにしておくことが予防につながる”ことが、さらに証明されると思います。

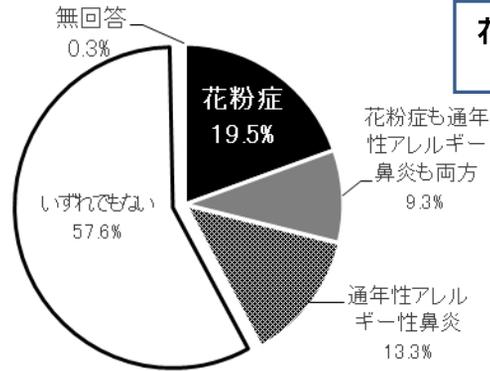
調査結果

1)「子どもが花粉症だと思う」は、28.8%。

0歳～16歳の子どもを持つ2,082人の父母の子ども3,475人のうち、花粉症であると親が実感している子どもは28.8%（「花粉症」＋「花粉症も通年性アレルギー性鼻炎も両方」）という結果になりました。

昨年行った同様のアンケートでは、花粉症の子どもは25.7%となっており、3.1ポイントの増加となりました。

問)お子様は花粉症だと思いますか？ N=3,475



**花粉症の子ども
合計28.8%**

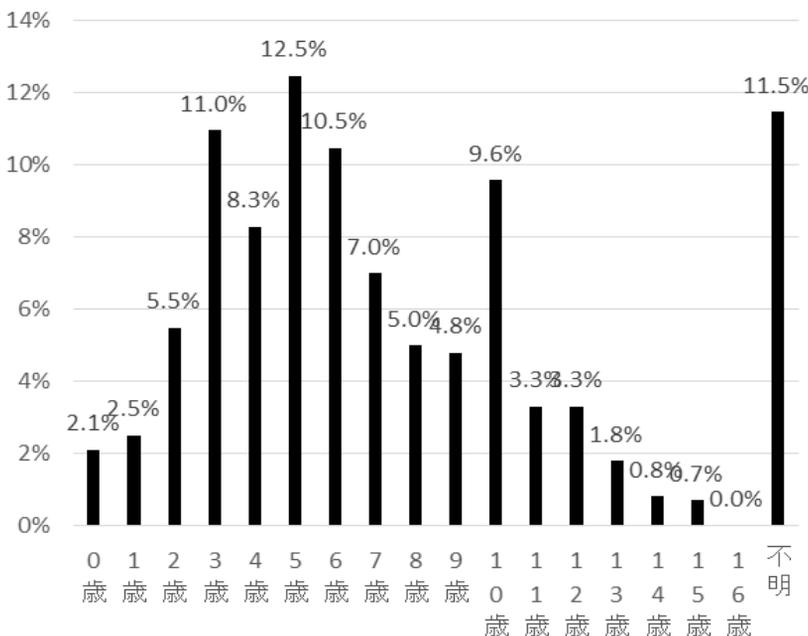
	2012年	2013年
花粉症	18.3%	19.5%
花粉症も通年性アレルギー性鼻炎も両方	7.3%	9.3%
花粉症の子どもの計	25.7%	28.8%
通年性アレルギー性鼻炎	12.8%	13.3%
いずれでもない	61.5%	57.6%
無回答	0%	0.3%
総合計	100%	100%

2)「子どもが花粉症だと思う」と答えた人に、発症年齢を聞いたところ

10歳までに発症した子どもは78.6%。5歳までに発症した子どもは41.8%。

自分の子どもの花粉症を実感している親に発症年齢を聞いたところ、「5歳」と答えた人が最も多く12.5%となりました。この発症年齢については、0歳から5歳までの合計が41.8%、0歳から10歳までの合計は78.6%となりました。

問)お子様は何歳で花粉症を発症しましたか？(前問で「お子様は花粉症だと思う」と答えた方のみ)に回答) N=1,002



	2012年	2013年
0歳	2.2%	2.1%
1歳	2.3%	2.5%
2歳	2.7%	5.5%
3歳	10.4%	11.0%
4歳	8.3%	8.3%
5歳	10.7%	12.5%
5歳までに発症	36.6%	41.8%
6歳	8.9%	10.5%
7歳	6.4%	7.0%
8歳	5.5%	5.0%
9歳	3.3%	4.8%
10歳	8.5%	9.6%
10歳までに発症	69.3%	78.6%
11歳	2.9%	3.3%
12歳	3.3%	3.3%
13歳	2.4%	1.8%
14歳	1.0%	0.8%
15歳	0.6%	0.7%
16歳	0.2%	0.0%
不明	20.3%	11.5%
総合計	100%	100%

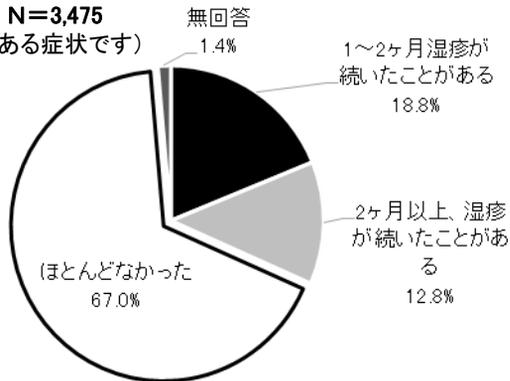
調査結果

3) 1歳までに「皮膚の湿疹が2ヶ月以上続いた子ども」では、花粉症発症率は43.5%。 全体の花粉症発症率28.8%に比べて14.7ポイント上昇。

今回の調査では、子ども全体のうち花粉症の発症率は28.8%となりましたが、様々なアレルギー症状等と花粉症の関連を調べていく中で、1歳までの皮膚湿疹の症状が、花粉症の発症と関連していることが分かりました。

1歳までの間に、「2ヶ月以上、湿疹が続いたことがある人」に対して花粉症の発症をたずねたところ、43.5%という結果になりました。これは「1~2ヶ月、湿疹が続いたことがある」人の花粉症の割合29.5%、「ほとんどなかった」人の花粉症の割合26.3%と比べると、非常に高い数値を示しており、乳児期の皮膚湿疹と花粉症の発症については、何らかの相関関係があると考えられます。

問) お子様は、1歳までに皮膚の湿疹はありましたか？(おむつかぶれを除く) N=3,475
 (湿疹とは、皮膚が赤く、ぶつぶつ・ざらざら・じゅくじゅくするような、かゆみのある症状です)

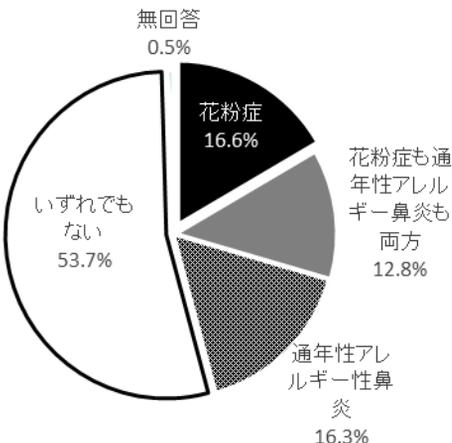


1~2ヶ月湿疹が続いたことがある	18.8%
2ヶ月以上、湿疹が続いたことがある	12.8%
ほとんどなかった	67.0%
無回答	1.4%
総合計	100%

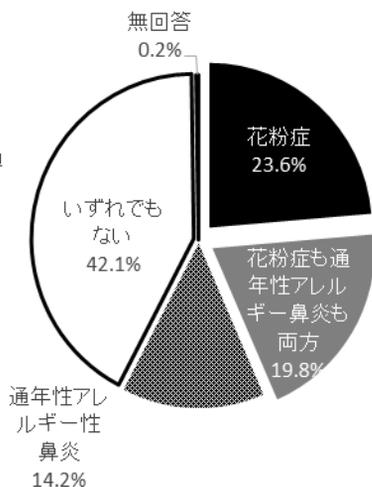
【1歳までの皮膚湿疹の状況別】花粉症の発症割合

	全体	1歳までの皮膚湿疹		
		1~2ヶ月 N=655	2ヶ月以上 N=444	ほとんどない N=2,328
花粉症	19.5%	16.6%	23.6%	19.7%
花粉症も通年性アレルギー性鼻炎も両方	9.3%	12.8%	19.8%	6.5%
花粉症の子どもの計	28.8%	29.5%	43.5%	26.3%
通年性アレルギー性鼻炎	13.3%	16.3%	14.2%	12.5%
いずれでもない	57.6%	53.7%	42.1%	61.2%
無回答	0.3%	0.5%	0.2%	0.1%
総合計	100%	100%	100%	100%

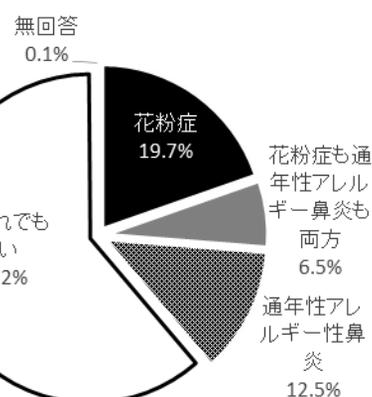
「1~2ヶ月、湿疹が続いたことがある」人



「2ヶ月以上、湿疹が続いたことがある」人



「ほとんどなかった」人

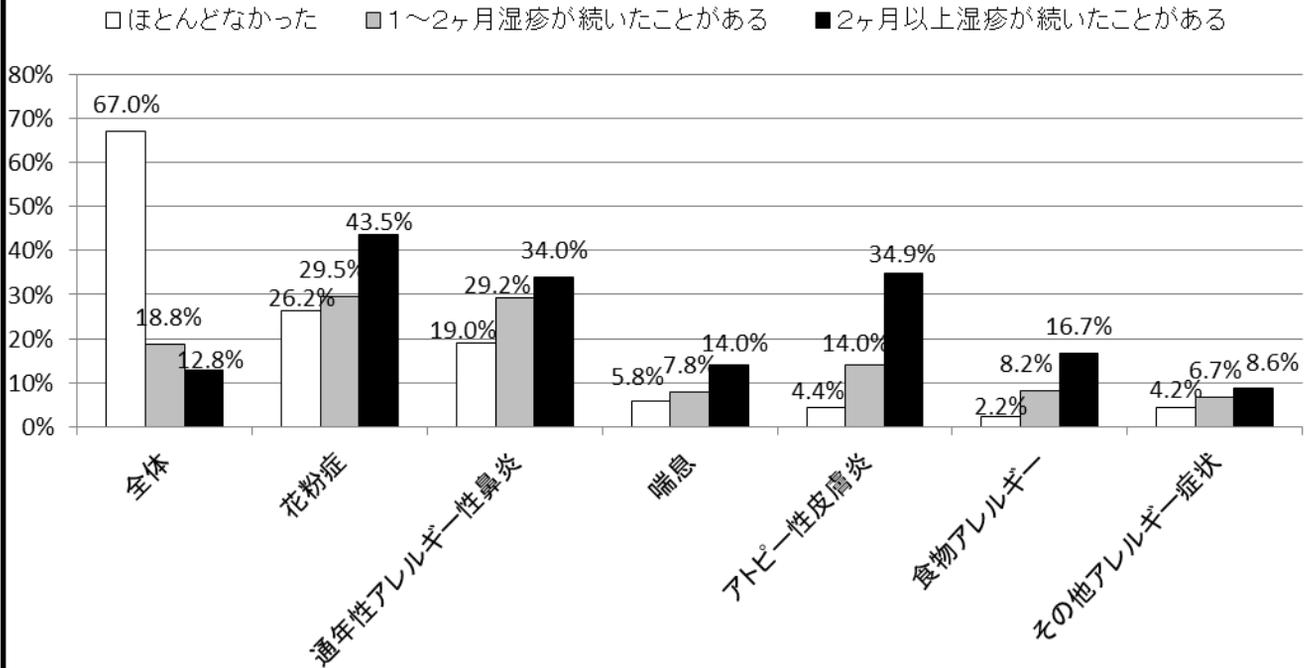


4) 花粉症をはじめ、現在のアレルギー症状は、「1歳までの皮膚の湿疹に関連性」があり。

花粉症をはじめ、自分の子どもに現在みられるアレルギー症状について回答していただき、さらに「1歳までに皮膚の湿疹があったかどうか」をたずねました。その結果、子ども全体では「ほとんどなかった」(67.0%)、「1~2ヶ月湿疹が続いたことがある」(18.8%)、「2ヶ月以上湿疹が続いたことがある」(12.8%)という結果になりました。しかし「花粉症」、「通年性アレルギー性鼻炎」、「喘息」、「アトピー性皮膚炎」、「食物アレルギー」を現在発症している子どもに関しては、1歳までに「2ヶ月以上湿疹が続いたことがある」子どもの割合が最も多くなりました。

特に「花粉症」の子どもについては、他のアレルギー症状に比べてその割合が大きく、花粉症と乳児期の皮膚湿疹に何らかの関係性があることが考えられます。

【1歳までの皮膚湿疹の状況別】 現在のアレルギー症状



	人数	ほとんどなかった	1~2ヶ月湿疹が続いたことがある	2ヶ月以上湿疹が続いたことがある
全体	3,475	67.0%	18.8%	12.8%
花粉症	1,002	26.2%	29.5%	43.5%
通年性アレルギー性鼻炎	785	19.0%	29.2%	34.0%
喘息	250	5.8%	7.8%	14.0%
アトピー性皮膚炎	352	4.4%	14.0%	34.9%
食物アレルギー	182	2.2%	8.2%	16.7%
その他アレルギー症状	180	4.2%	6.7%	8.6%

4) お子様の花粉症に関して、困ったこと・対策・体験談などエピソードを具体的にお聞かせください。

■花粉対策と言えばマスク。しかし子どもにとっては、マスクを長時間つけておくのは至難の業。

- ・マスクをすぐ外してしまう。(42歳女性／5歳男子)
- ・通学時はマスクで少し軽減できますが、体育の時間などはマスクをしていると運動しづらいのでくしゃみがひどくなってつらいそうです。またマスクだとメガネが曇るのも厄介です。(42歳男性／10歳女子)
- ・マスクを長時間きちんとフィットした状態でつけていられない。(ずらしてゴムを伸ばしてしまう)(31歳女性／4歳女子)
- ・大人のようにマスクをずっとすることができないので、くしゃみを連発、公園で楽しく遊ぶことができないのがかわいそうです。(37歳女性／8歳女子)

■毎日薬を飲ませるのが心配。自己管理が出来ない子どものケアを心配する声も。

- ・小さいのに、毎日薬を飲むことが心配。目をかいたり、鼻がつまったり、鼻水がでたり、かわいそう。(39歳女性／5歳男子)
- ・大人と違い自己管理ができないので、医院で薬をもらってきても食後必ず飲むとかかゆいところに薬をぬるとかケアが行き届かなくて大変でした。(41歳女性／11歳女子)

■花粉用メガネに、スプレー、ティッシュ…。子どもの花粉症の必需品。

- ・花粉症のめがねをしていると少し楽になるようです。(41歳女性／14歳男子、11歳女子)
- ・花粉症用のメガネを購入しましたが、遊んでいるときなどには危なくて、あまり意味がありませんでした。(39歳女性／5歳女子)
- ・春・秋にくしゃみ鼻水があり、くしゃみが多いとしょっちゅう鼻血も出ます。鼻の粘膜へのスプレーを使用していますが、十分効果は得られていません。(41歳女性／6歳男子)
- ・ティッシュで鼻をかみすぎて鼻のまわりの皮膚がボロボロで痛くなるほど荒れました。(45歳女性／14歳男子)
- ・困ったことは、園や学校でティッシュが足りなくなってしまったこと。(39歳女性／9歳 男子)

■花粉症による集中力の低下で、受験シーズンや部活も心配。

- ・花粉症の季節はくしゃみ、鼻水、目の痒みだけでなく、頭がぼんやりして集中力にかける。薬で眠気も出るため受験シーズンは辛そうだった。(39歳女性／12歳女子、10歳男子)
- ・屋外スポーツをしているので花粉の時期（春夏秋）マスクやメガネをつけることもできず辛い思いをしてかわいそう。(45歳女性／15歳男子、8歳女子)

■まだ花粉症を発症していない親の子ども、いつか発症するのではないかと心配。マスクなどの対策を行っている。

- ・両親が花粉症なので、いつ発症するか心配です。花粉の季節にはマスクなどさせています。(37歳女性／4歳男子・2歳男子・0歳男子)

今回のアンケート調査結果をもとに、小児アレルギーの専門医の立場から、見解とアドバイスを頂きました。



末廣 豊（すえひろ ゆたか）医師

大阪府済生会中津病院小児科 免疫・アレルギーセンター
日本小児アレルギー学会評議員・理事

◆花粉症患者の低年齢化は進んでいます。

他人から分かりづらい子どもの花粉症は、集中力低下など生活の質への影響が心配。

花粉症に関する最近の報告を見ると、小児花粉症患者の増加、低年齢化が目立ちます。ご両親がスギ花粉症の場合、理論的には子どもはほぼ100%スギ花粉症になります。花粉症は生命を脅かすことはまずありませんが、集中力低下など生活の質（QOL）を著しく損ないます。さらに、小児の花粉症の症状は、鼻水や連続するくしゃみが出るというより、ぼーっとしているなど、他人からは分かりづらいという特徴がありますので、お母さんが注意してあげることも大切です。

◆乳幼児期からの花粉回避、屋内への花粉侵入の予防など、発症予防が大切。

いったん発症した花粉症が自然寛解する可能性は低いと考えられていますので、治療は発症予防として、乳幼児期から花粉を回避する、屋内への花粉侵入を予防することが大切です。発症してからは、花粉の飛散時期には花粉情報に注意し、早目からの予防治療が大切です。

◆最近のアレルギー分野でのトピックスの一つ：経皮膚感作

経皮膚感作とは、“バリアの障害された皮膚（湿疹）からアレルギー感作が始まる”という現象です。

ここ数年、皮膚から食物アレルゲンなどのアレルゲン感作が始まることを証明するデータは増え続けています。つまり乳児期の湿疹から小児のアレルギー疾患（食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎/花粉症）が始まる、すなわちアレルギーマーチは皮膚から始まるという事が証明されつつあるのです。

今回のこのアンケートの結果も、それを示唆しているという意味で画期的といえるものです。

乳児期の湿疹がほとんどない群、2か月以内の群（乳児湿疹と思われます）、2か月以上続いた群（アトピー性皮膚炎と思われます）では、後の群ほど明らかにアレルギー疾患（食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎/花粉症）を発症しやすいという結果です。

このことは乳児期の湿疹をできるだけ早く治しておくことが、アレルギーマーチの発展阻止につながることを意味します。実際に、新生児期からワセリン等の保湿剤を塗っておくと湿疹/アトピー性皮膚炎が予防できるという報告があります。

今回の報告のような結果が、今後も多く集まると、“アレルギーマーチは皮膚から始まる”、“保湿剤などで皮膚をつるつるにしておくことが予防につながる”、ということがさらに証明されると思います。

調査設計

- 調査方法 インターネットによるアンケート調査
- 調査目的 小児花粉症の実態を知っていただくことで花粉症対策の啓発に役立てる
- 調査・分析 ロート製薬株式会社
- 対象エリア 全国
- 調査時期 2013年11月26日～12月2日
- 調査対象 0歳～16歳までの子どもを持つ父母
※調査結果は回答した父母の実感によるもので、医師の診察結果による数値ではありません。
※子どもの人数に応じてそれぞれ回答いただいています。
- サンプル数 2,082名

【父母のサンプル属性】

	女性	男性	全体
20代	72	2	74
30代	801	53	854
40代	966	188	1,154
合計	1,839	243	2,082

【子どものサンプル属性】

	人数	%
0歳	86	2.5%
1歳	106	3.1%
2歳	136	3.9%
3歳	153	4.4%
4歳	198	5.7%
5歳	198	5.7%
6歳	209	6.0%
7歳	233	6.7%
8歳	252	7.3%
9歳	238	6.8%
10歳	246	7.1%
11歳	259	7.5%
12歳	251	7.2%
13歳	255	7.3%
14歳	227	6.5%
15歳	233	6.7%
16歳	195	5.6%
総計	3,475	100.0%

	人数	%
男	1,765	50.8%
女	1,710	49.2%
総計	3,475	100.0%

■子どもの花粉対策 5か条

他人から分かりづらく自分で対策が充分できない子どもの花粉による症状は、お父さんお母さんの注意や普段からの心がけがとて大切で。普段の生活の中で以下の5つを気を付けてください。

- 1) 花粉飛散情報をしっかりとチェックしましょう。
- 2) 屋外では、花粉との接触を避ける工夫をしましょう。(マスクの着用など)
- 3) 屋内に花粉を入れないように工夫しましょう。
- 4) 目に症状が出てしまった場合は、かいて症状が悪化ないように目薬の使用を。
- 5) 子どもの症状は気づきにくいので、サインを見逃さないことも大切です。

■子どもの花粉対策 オススメの商品

ロート製薬では、1987年に花粉対策目薬「ロート点眼薬アルガード」を発売して以来、四半世紀にわたって花粉症の研究に取り組んできました。近年では、子どもの花粉対策を考えた、目薬、鼻炎用内服薬、マスク、うがい薬など症状や使用場面に合わせて選んでいただける幅広いアイテムをラインナップしています。



しょうせいりゅうとうじょう

新・ロート小青竜湯錠 II

鼻水や水様のたんを伴う咳が出る方の、鼻炎・花粉症に。
5才から服用できる1日2回タイプの漢方薬。



ロート こどもソフト

「やさしさ」を徹底追及した子ども用目薬初の防腐剤フリー※処方。目のかゆみ、充血に。涙に近いpHでしみないさし心地です。
※防腐剤(ベンザルコニウム塩化物、パラベン)を含んでいません。



ママはぐ®こどもマスク

インフルエンザウィルス飛沫カット
機能つき抗菌フィルターを使用した、
高機能不織布マスク。
子ども用の小さめサイズです。



ママはぐ®うがい薬

ロートうがい薬S(左: スイートフルーツ味)
ロートうがい薬F(右: フルーツ味)
子どもにも使いやすいフルーツ味のうがい薬。
お外遊びから帰った後のうがい習慣をつけるのにも役立ちます。



ロート アルガード® 花粉侵入防止ジェル

鼻の外側に薄く塗り広げて花粉の鼻腔内への侵入を防ぐ、「ぬる透明マスク」。
イオンバリアによる花粉侵入阻止とキトサンによる花粉抑制のダブルの力で花粉対策が出来ます。



ロート アルガード®S

しみないマイルドタイプの花粉対策点眼薬。
「ロートアルガード」の確かな効き目はそのままに、やさしいさし心地を追及しました。清涼感の苦手なお子様や敏感な腫のかたにも。